



Bーぐる沿線協議会ニュース

第22号

令和元年12月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課庶務係（コミュニティ担当） 03-5803-1387

令和元年7月18日に沿線協議会が開催され、平成30年度の運行実績等が報告されたほか、新規路線導入区域に関する説明がありました。

年間利用者数は2路線計93万人。来年度に1000万人達成へ

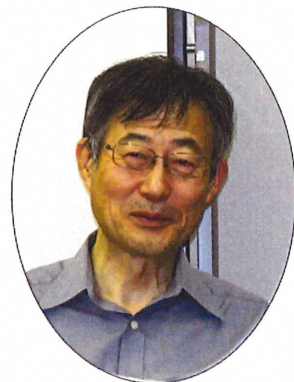
平成30年度のBーぐるの年間利用者数は、千駄木・駒込ルートが484,034人(前年度から11,760人減少)、目白台・小日向ルートが449,49人(同3496人増加)であり、2ルート合計933,503人となりました。

千駄木・駒込ルートは運行開始以来、50万人前後で推移してきましたが、ここ2,3年は横ばいから減少傾向に転じています。目白台・小日向ルートは平成27年度以降、44万人台で安定的に推移しています。



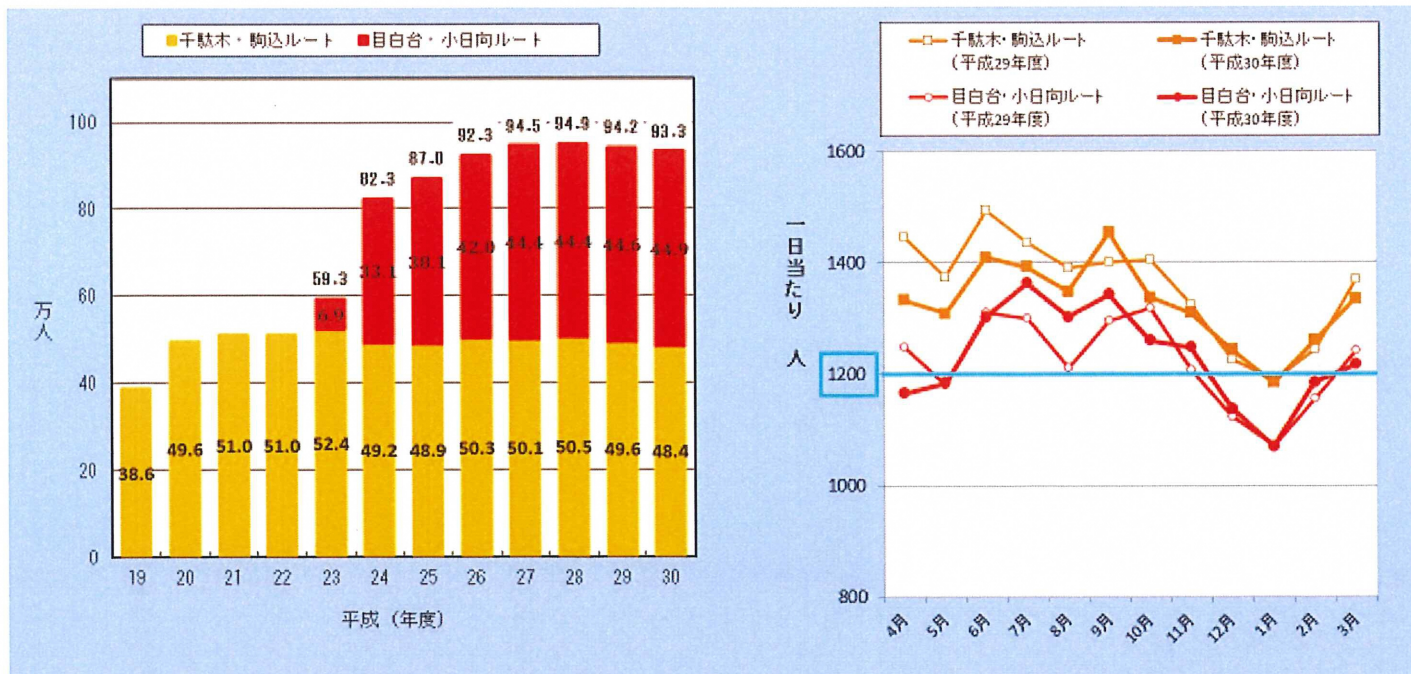
月別の利用者数では、千駄木・駒込ルートが9月、12月、2月を除く各月で前年度に比べて減少したのに対し、目白台・小日向ルートは7~9月で大きく増加しました。

元田会長から「平成30年度末時点で両路線の累計利用者数が約888万人であるので、来年には1000万人も達成できるだろう。何か記念になるイベント等が企画できるとよい」とのコメントがありました。区を代表して竹田委員からは、「具体的にはこれからはなるが、他の自治体の取り組みなどを参考にしながら検討していきたい」との意欲的な回答がありました。



元田会長

Bーぐるの乗車実績の推移（左）と月別乗車実績（平成29・30年度）



東京 2020 オリンピック・パラリンピック応援号が走ります。

スポーツ推進課から、開幕まで一年に迫った東京オリンピック・パラリンピックを文京区全体で盛り上げるため、千駄木・駒込ルート、目白台・小日向ルートの各1台に、大会マスコットをデザインしたラッピングバスを運行する計画が説明されました。運行は8月26日から来年3月末までの予定で、運行初日は夏休み期間にもあたることから、シビックセンター1階でラッピングバスを展示し、フォトスポットを設けるとの説明がありました。



東京オリンピック・パラリンピックのラッピングバスと記念撮影をする人（令和元年8月26日）

本郷・湯島地区に新路線。令和3年度の運行開始を目標に

事務局より、平成30年3月に公表された「文京区コミュニティバス課題等分析委託報告書」で示された路線案を多角的な視点で評価検討した結果、本郷・湯島地域を新規路線導入区域とする旨を議会報告した。今年度該当地域へニーズ調査を実施した後、バス事業者の選定を行い、令和2年度に運行計画の作成、各関係機関との協議・調整、運行開始準備、令和3年度に運行開始というスケジュールを予定していることが報告されました。

出席委員からは、「本郷湯島の住民はBーぐるが来

るのを心待ちにしてきた。今から楽しみ」等の意見が出され、竹田委員が「これまでの調査を踏まえ、住民ニーズを反映した路線にして行きたい」と抱負を述べました。

新路線運行開始までのスケジュール

令和元年度	本郷・湯島地区ニーズ調査 バス事業者の選定（プロポーザル）
2年度	運行計画の作成、各関係機関との協議・調整、運行開始準備
3年度	運行開始

運行間隔や運賃、ダイヤ、バス停等が多角的に検討されました。

その後の質疑では、運行間隔を現在の20分から15分に短縮した場合の需要創出とコストの関係、事業採算性と運賃の見直しに関する質問があり、竹田委員（区民課長）が運行間隔の短縮によるプラス効果については平成30年3月の報告書で試算したが、人手不足の問題等があり運行間隔の短縮や運行時間の延長などは難しい。運賃についても、150円だと収支悪化、210円だと収支が黒字化するという結果を得ているが、公益性の観点から現状通り100円で運行したいと考えている。現状は区が補助金を出す要件をクリアしており、状況の変化で事業の継続が難しくならない限り、現状通りで進める方向と回答しました。

このほか、運賃以外の収入を増やすために、協賛金を増やす、とくに新路線の沿線企業に対する協賛の勧

誘は早めに始めることが望ましい、目白台・小日向ルートは朝の通勤通学時間帯に混雑している区間があるので、需要に応じたダイヤが組めないか、水道端図書館前にもバス停があるとよい等の意見が出されました。

最後に、元田会長が今まで2つのルートを整備してきた中での成功や失敗の中から得られたノウハウを新規路線の整備に活用できれば良いと総括して閉会となりました。

編集後記

かねてより区民の関心を集めていた新路線開設に向けた道筋が公表されました。具体的なルートはこれから検討されますが、限られたスケジュールの中で円滑に進むことを期待しています。（N）